

江東病院 健康だより

江東病院 医療連携室

Vol.
05

2024/07/31

糖

糖尿病は少し血糖値が高いくらいでは自覚症状はほとんどありません。そのため糖尿病やその疑いを指摘されても自分は大丈夫、まだ大丈夫と思いついてしまいがちです。

糖尿病の怖いところは自覚症状がなくても合併症が少しずつ進んでいくことです。

糖尿病の3大合併症である網膜症、腎症、神経障害は初期にはほとんど症状がありませんが血糖コントロールが悪ければ発症や進展のリスクが確実に高くなります。さらに糖尿病は心筋梗塞、脳梗塞、認知症、癌、骨粗鬆症による骨折、足の壊疽など様々な疾患になりやすいことも分かっています。これらの合併症が一旦起こってしまうと生活の質が大幅に低下し生命予後にも関係してしまいます。

糖尿病の治療の基本は食事運動療法になります。空腹は耐えられないし間食はやめられない、運動もなかなか続かないものです。ご自身だけではなかなか解決できません。

我々は経口血糖降下薬やインスリンによる糖尿病の治療や自己血糖測定の指導を行っています。さらに我々は糖尿病の診療とともに糖尿病患者さんへの教育や指導にも力を入れています。

健康診断を受けて血糖値が高いと指摘されたものの、そのまま放置している方はいないでしょうか？

糖尿病についてもっと知りたい方、糖尿病の治療を始めたい方、糖尿病の治療をもっと強化したい方はご相談ください。



総合診療科 中島 章人

糖尿病教育入院

血糖値とHbA1cの改善を目指します

薬の内服やインスリンの注射を指導します

栄養指導（食生活改善）をします

運動療法（リハビリ）をします

- * 毎食前後の血糖測定
- * 医師・薬剤師・管理栄養士による講義
- * フットケア
- * 歯科医によるオーラルケアの指導

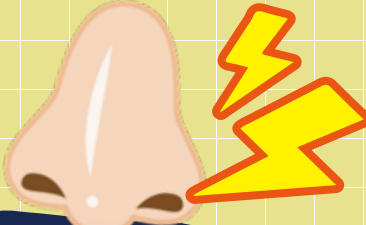
2024年スケジュール

8月26日～8月31日

9月24日～9月28日

10月28日～11月2日

11月25日～11月30日



鼻づまり 続いて いませんか？

鼻づまりはよくある症状ですが、 長期間続いていることはありませんか？

鼻づまりには、さまざまな原因が隠れている場合があります。

最も一般的な原因は、アレルギー性鼻炎です。アレルギー性鼻炎は、アレルゲンによって鼻の粘膜が腫れる疾患で、主な症状は鼻水、くしゃみ、鼻づまりです。

花粉症として知られているものが多く、これはスギ花粉に対する季節性アレルギー性鼻炎です。また、ハウスダストに反応する通年性アレルギー性鼻炎もあります。

アレルギー性鼻炎の治療には、大きく分けて投薬治療と手術治療の二つがあります。投薬治療

では、抗ヒスタミン薬やステロイド点鼻薬を使用し、スギ花粉やハウスダストに対するアレルギーには舌下免疫療法をおすすめします。



重症のアレルギー性鼻炎には、全身麻酔下に後鼻神経切断術が行われます。薬の効果が期待できない方は、一度ご相談ください。

また、鼻中隔湾曲症も鼻づまりの原因の一つです。この疾患は薬では治りにくく、手術が必要です。当院でも治療が可能です。

鼻づまりが続いている場合、薬局で販売されている点鼻薬を長期間使用している方もいるかもしれません。これらの点鼻薬は一時的な使用を目的としており、長期間使用すると逆に鼻づまりが悪化することがあります。これは薬剤性鼻炎と呼ばれ、点鼻薬の中止と原因に基づいた治療が必要です。

慢性副鼻腔炎も鼻づまりの原因となります。副鼻腔炎には、鼻の中に膿がたまるタイプとポリープができるタイプがあります。喘息に合併する場合もあり、好酸球性副鼻腔炎という難病指定の病気もあります。喘息をお持ちの方で嗅覚障害や鼻づまりが続いている場合は、耳鼻科受診をおすすめします。好酸球性副鼻腔炎には新しい薬が登場しており、手術以外の治療も可能です。

鼻の中の腫瘍も鼻づまりの原因となることがあります。良性から悪性までさまざまな腫瘍があり、症状がある場合は診察が必要です。

以上、主な鼻づまりの原因と治療方法について説明しました。

実際には診察を受けてみないとわからないことも多いので、症状がある方は一度ご相談ください。

耳鼻咽喉科 野島 暁人